

関係会社紹介

中電コンピュータサービス株式会社

ビジネスに即応したITソリューションプロバイダーを目指して…

1 はじめに

ITの急速な普及と情報技術革新によりビジネス環境は日々大きく変化しています。その大きく変化しているビジネス環境に最適なソリューションを提供することが、当社の最大の使命です。当社は、昭和53年に中部電力100%出資の直系企業としてスタートして以来、お客様のベストパートナーとして企業のIT化推進やソフト面から電力の安定供給の一端を担う役割を着実に果たして参りました。平成12年7月にはプライバシーマークを取得し、更に平成15年6月にはISO9001の認証取得する予定であり、今まで以上にお客様の個人情報管理と品質管理の向上を目指しております。

なお、当社は同じ中部電力グループ会社である(株)シーティーアイと平成15年10月に合併いたします。

2 CCSの事業内容

システム開発

大型基幹システムから制御装置の監視・データ集配システム等の開発。業務の統合化・効率化を支援するERPや顧客情報を活用し営業力を強化するCRMシステムの構築と導入サポート。

IT支援サービス

コンサルティング、ヘルプデスク、封入・封緘及びシーリングサービス、コンピュータシステムの保守などIT化に関するあらゆる分野の支援サービス。

ネットワークサービス

ネットワークやインターネット環境の構築と運用保守。認証ICカード販売。

自治体向けサービス

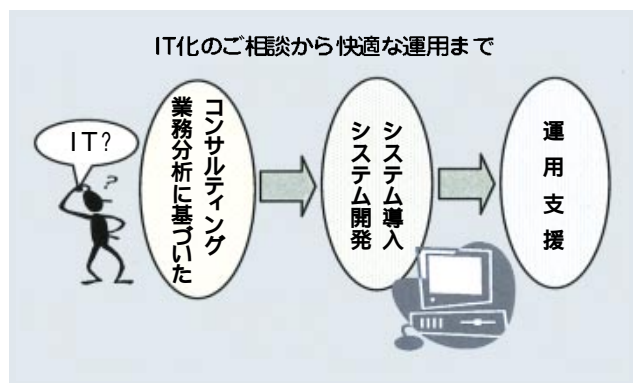
災害対応支援システムなど電子政府を推進するシステムの導入やコンサルティングなど。

CAD開発・図面作成

AutoCAD等をプラットフォームとするCADソリューション開発とサポート。CAD図面作成やデータ変換サービス。

教育サービス

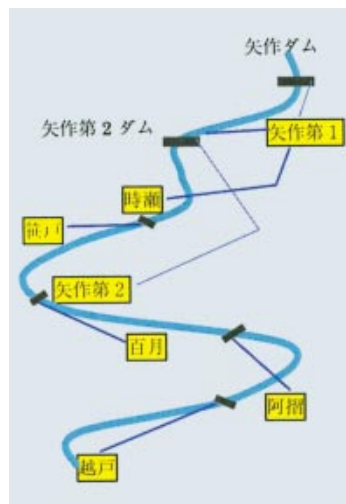
パソコン操作からCADオペレーションまで親切丁寧なトレーニング。



CCSの提供するトータルサポート

3 矢作川水系最適発電計画システムの事例紹介

最適なソリューション提供の一例として矢作川水系最適発電計画システム開発の事例を紹介します。



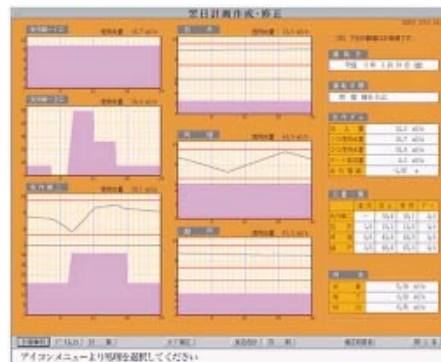
矢作川水系モデル

中部電力(株)岡崎支店矢作川水系の矢作第一発電所から越戸発電所まで7発電所の発電計画策定は、従来、手作業のため経験豊富な運用者においてもかなりの時間を必要としていました。

また、矢作川水系各発電所の総発電量は、上流発電所からの発電放流量と発電時間帯、河川途中の流入量、あるいは各発電所貯水池

の使い方により大きく変わってきます。

このためこれらの組み合わせを工夫することにより、総発電量が最大となる最適化アルゴリズムを考案して矢作川水系最適発電計画システムを開発し、矢作川水系総発電量の増加と発電計画策定時間の大幅な短縮に寄与することができました。今後は運用実績をふまえてさらに最適なソリューションを提供していきたいと考えております。



発電計画作成修正画面

4 会社概要

会社名：中電コンピュータサービス株式会社

設立日：昭和53年8月

資本金：1億円

従業員数：550名

企業技術認定：

システムサービス企業、プライバシーマーク、マイクロソフト認定パートナー、オートデスクテクニカルサービス&トレーニングセンター、オラクルマスター、XMLマスター、ITコーディネータ など